



新たな幕開け

- The beginning of a new chapter -

special photo report R8.01.11 Hirokawa



二十歳の祭典

1月11日(日)、下広川小学校体育館で「令和7年度広川町二十歳の祭典」が開催されました。対象者は、平成17〜18年生まれの225人で、そのうち156人が参加。式典の企画や運営は、20歳を迎える人の中から募集した8人の実行委員が担当し、式全体の進行を行いました。

主催者あいさつでは、広川町教育委員会を代表して、富山教育長が「これから歩む道には、多くの素晴らしい出会いや経験が待っています。自分自身を信じて、一步一步進んでいってください」と激励。お礼の言葉(5ページ)を実行委員長の鹿田侑聖さんが述べ、閉式を迎えました。人生の大きな節目となる20歳の記念に相応しい、希望に満ちた華やかな門出となりました。

新たな幕開けとなる特別な日、二十歳の祭典。これから先、多くの挑戦や喜び、出会いが待っています。これまで支えてくれた人への感謝を胸に、羽ばたいてください！

二十歳に
想うこと

あなたの夢や目標を
教えてください！

二十歳になった皆さんに、夢や目標を聞きました。それぞれの想いを胸にがんばってください。協力してくれた皆さん、ありがとうございました！



広川町に少しでも貢献できるように頑張ります！



世界一周したいです！



Congratulations on turning 20!

Wishing you a bright future!



大学でしっかり単位を取れるように頑張ります！



落胆ゼロを目指します！
あと海外に行きたいです！



大学院に推薦で行けるように勉強を頑張ります！



一から自分でパンを作れるようになりたいです！



Opinions of 20years old

New Chapter of Life

挑戦の先にあるもの 後藤叶羽さん

皆さんは大切にしている言葉はありますか？私は「当たって砕けろ」です。これから先、何かに挑戦するかしないかの岐路に立ったとき、やらずに後悔するよりも、やって後悔するほうがいいと思います。新しい事への挑戦は不安やプレッシャーを伴いますが、挑戦した後に得られる経験や人とのつながりは、人生を広げる宝物になります。これからも、多くの挑戦を経て、将来の選択肢を増やしていきたいです。



Opinions of 20years old

New Chapter of Life

真の寛容さとは？ 田中菜々美さん

去年の夏、オーストラリアに語学研修に行ったとき、ホストファミリーは私を家族の一員のように受け入れてくれました。言葉は違えど、相手を思いやる気持ちは世界共通だということを実感しました。異なる文化や価値観の人と関わる中で「理解しようとする姿勢」こそが、真の寛容さなのだと気づきました。これからも違いを恐れずに人と向き合い、互いを理解しあえる大人になりたいです。



二十歳の主張 (要約)



Opinions of 20years old

New Chapter of Life

バトンをつなぐ 姫野千朱穂さん

私は現在、久留米工業大学で教育課程を履修し、中学校の数学教師になるという夢に向かって勉強しています。中学2年生まで数学が苦手でしたが、先生たちのおかげで克服し、今では大好きな科目になりました。この体験を生徒に伝えられる教師になりたいです。この夢を実現するため、人との関わりを大切にし、幅広い年代の人たちと交流できるボランティア活動などに積極的に参加しています。



Opinions of 20years old

New Chapter of Life

人に頼ることの大切さ 川原由聖さん

私は、中学校・高校で修学旅行の実行委員や体育祭のリーダーを務める中で、「人に頼ることの大切さ」に気づきました。当時は、すべて自分一人で行う方が早いと思い込んでいましたが、まとめ役としての経験を積む中で、人に相談した方が良い案が浮かびやすく、あらかじめ共有することで物事が円滑に進みやすくなることに気づけたのです。人に頼るべきところで素直に頼るのも、自立の一つだと思います。





町長のあいさつ（要約）

晴れて輝かしい門出を迎えられた皆さんに、心よりお祝い申し上げます。

これまでは社会から守られる立場でしたが、社会を支える側の一員になります。社会において自立することはもちろん、他者へ配慮する責任も負うことになります。

このような言葉を聞くと不安を抱くかもしれませんが、決して臆することはありません。若い力と柔軟な思考、そして失敗を恐れずにチャレンジする精神こそが、未来を切り開く原動力なのです。

自分の力と可能性を信じ、一步一步進んでいく皆さんを、私たちは心から応援しています。

お礼のこたば（要約） 実行委員長：鹿田侑聖さん

本日は、私たちの晴れやかな門出をお祝いくださいまして、誠にありがとうございます。

すでに社会人として働いている者、学業に専念している者など、それぞれおかれた状況は違いますが、一人ひとりが花を咲かせられるよう、日々精進していきます。

二十歳という人生の門出を迎えた今、大人としての自覚と責任を持ち、社会の一員として前に進んでいく所存です。今後とも温かいご指導ご鞭撻^{べんたつ}をくださいますよう、お願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。

